



じょうそう 市議会 だより

主な記事

- 一般質問(5月定例会議)…………… (2)～(10)
- 意見書・常任委員会所管事務調査…………… (11)
- 4月随時会議審議案件と結果・
5月定例会議審議案件と結果…………… (12)～(13)
- 永年勤続議員表彰…………… (14)
- 8月定例会議日程…………… (14)
- 議長のひとこと…………… (14)

- 責任者 常総市議会議長 風野芳之
- 編集 議会だより編集委員会
- 発行 常総市議会

222号

2018.8.16
発行



6/5～8の4日間にわたり16人の議員が一般質問を行い、市政全般について活発な議論が交わされました。ここでは、質問・答弁の要旨の一部を掲載しています。
※原則として平成の元号は省略しています。

3. 中島 亨一
NAKAJIMA RYOICHI
●アグリサイエンスバレー構想について
○道の駅の考え方
P.4

2. 岡野 一男
OKANO KAZUO
●水海道あすなろの里の現状について
P.3

1. 中村 博美
NAKAMURA HIROMI
●健康寿命延伸の取り組みについて
○受動喫煙防止の推進について
○サイクリングロード構想、現在の取り組みの経過について市長に問う
P.3

6. 中村 安雄
NAKAMURA YASUO
●旧水海道商店街の現状と賑わい再生の取り組みについて
○水海道駅前通り夜間照明問題について
○資源ごみと報奨金制度について
P.5

5. 坂野 茂実
SAKANO SHIGEMI
●常総市消防団の現状及び充実について
P.5

4. 寺田 洋
TERADA HIROSHI
○リサイクル社会を目指して
●技術的特異点（シンギュラリティ）について
P.4

9. 石川 栄子
ISHIKAWA EIKO
●子育て支援について
○水道事業について
P.7

8. 遠藤 正信
ENDO MASANOBU
●常総市の目指す防災、減災について
○介護保険の制度について
P.6

7. 坂巻 文夫
SAKAMAKI FUMIO
●小学校の統廃合について
○通学道路の冠水箇所について
○防犯カメラについて
○中妻町の農地におけるコンクリートブロックの放置について
P.6

12. 大澤 清
OSAWA KIYOSHI
○生活保護不正受給問題について
●有料広告掲載について
P.8

11. 堀越 輝子
HORIKOSHI TERUKO
●市長が公約に挙げていた常総線の電化やTXへの相互乗り入れについて
P.8

10. 堀越 道男
HORIKOSHI MICHIO
●保育所について
○水害における堤防のその後について
○戸別受信機について
P.7

15. 倉持 守
KURAMOCHI MAMORU
●菅生沼の位置付けと水害の関連性について
P.10

14. 新田 宏安
NITTA HIROYASU
●包括施設管理業務委託について
P.9

13. 関 優嗣
SEKI MASASHI
●常総市のブランド確立について
○ペーパーレス化について
P.9

16. 茂田 信三
SHIGETA SHINZO
●市長の市政を問う（市長の政治姿勢を問う）
P.10



●が今回掲載した質問で、本文中の固有名詞は、質問議員の意向により掲載しております。（質問事項を通告順に記載）各議員の質問内容の詳細は、スマートフォンからQRコードを読み取り、動画で見ることができます。



3S大作戦の推進を

健康寿命延伸の取り組みについて

スマイル
SMILE
スクワット
SQUAT
ストレッチ
STRETCH



議員
30年3月4日に地域交流センターで開かれた福祉講座で、長野県を長寿日本一に導いた医師の鎌田實先生が、69歳の現在もスマイルとスクワットで健康づくりを実践されているというお話を聞いた。スクワットを毎朝50回実行していること、幸せだから笑うのではなく、笑うから幸せになり、笑うと長生きするということなどに響く話だった。スマイルとスクワットと聞き、これにストレッチ運動を入れてはと考えた。ストレッチで

伸び縮みのいい筋肉になると運動を継続することが可能になり、運動により筋肉が増強される。また、疲労回復にも良い効果があり、仕事の能率もあがる。中高生はストレッチでけが予防が高齢者はストレッチで転倒予防ができる。さらに、ストレッチは痛みも改善できる。そこで、3つの頭文字のSを取り「3S大作戦」(SMILE・SQUAT・STRETCH)を市民の皆さんに広げていきたい。

保健福祉部長

スクワットもストレッチも専門の指導者のもと、正確に行わないと体を痛めるおそれがあるため、正しいやり方を習得し習慣化できるように推進していくことが理想であると考える。実施の可能性について協議したい。

議員

スクワットとストレッチについては詳しく説明された冊子を作りたい。「3S大作戦」を市長はどのように考えるか尋ねる。

市長

ストレッチは血液の循環にも脳の回転にも良く、健康づくりには大変素晴らしい効果があるので、3つセットでどんどん推進していくように様々な機会を得て周知していきたい。

□ 殿 園 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問



入園料の無料化を

水海道あすなろの里の現状について



増と施設の使用料の見直しによる収入増について検討する。

議員

最近、目的の施設しか使用していないため入園料は免除してほしい、という苦情に近い要望を受ける。施設の散策という開園当初の目的から、施設の使用とその来園目的も大きく変わってきた現状から、入園料の撤廃に向けて、毎日無料の実験を行ってはいかがかが。

経済環境部長

プロジェクトチームでは、冬季も含めた数か月間、入園料無料化の実証実験を行う予定である。入園料無料化による増客の算出についても検討している。

議員

思い切って、入園料については無料化の方向に向かってよいのでは。市長の考えを尋ねる。

市長

私も議員と同感である。ただ無料化するだけではなく、施設の使用料で年間の運営費の元を取れるような仕組みを数字的データで示せるよう、実証実験の結果を見て、なるべく早急に無料化に向けて進めていきたい。

議員

なるべくではなく、早急に検討し、整備していただきたい。

中村 博美 議員

岡野 一男 議員

都市建設部長
 本地域で実行しようとしている農業の産業化が一つのモデル

議員
 常総市を発展させるためには、地域資源の最たるものである農地を生かしていくべきであり、そのためには常総市全体の農業のポトムアップを図る必要がある。そして、農業のポトムアップを図るためにはインターチェンジ周辺を中心拠点とすべきと思うが、農業のポトムアップとアグリサイエンスバレー構想との整合性はとれるのか伺う。

農業のポトムアップを

アグリサイエンスバレー構想について



中島 亨一 議員

事業となり、市全体へ波及させることができれば構想の実現に寄与でき、農業のポトムアップにもつながるものと考えている。

議員
 アグリサイエンスバレー構想というのは、常総市の農業をポトムアップするための情報発信基地だと考えるが、アグリサイエンスバレー構想の中のどこで新しい技術や新しい農業のあり方を発信していくのか尋ねる。

都市建設部長

アグリサイエンスバレー構想地の中に道の駅建設計画がある。道の駅の看板をもらうには観光などの情報発信基地が必要となるため、情報発信の拠点としての利用を考えている。

議員
 道の駅に反対しているわけではなく、本当に成功させてもらいたい。そのためにはもつと真剣になってほしい。枠だけつけてインターチェンジ周辺地域の開発さえ済めばよいというものではない。農政課と話し合っただけで何が高収益を生み出す作物なのか考え、アグリサイエンスバレー構想を絶対成功させるといふ思いでやらなければならぬ。期待しているのだから、しっかりとお願いする。

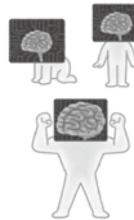
問 質 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 問 質 質 問

市長公室長
 31年度から5年間の第3次常

議員
 現在、ICT、AIの発達は目覚ましいものがあり、茨城新聞経済懇談会の例会においてもICTやAIを活用し、地方に居る若者を生かすべきという講演を行ったという新聞記事が載っていた。また、最近シンギュラリティという言葉も聞かれるようになった。2045年には人工知能が全人類の知能を超えるといわれている。このような時代背景において、どのような未来創生プランの中で、AIの発達を考慮しその活用を図るという考えはあるか伺う。

AIの発達

技術的特異点 (シンギュラリティ) について



寺田 洋 議員

総務省が人工知能・ICT分野に関するシンギュラリティ研究会を開いていると聞いた。なくなる職種としては医師、オペレーター、運転業務などがあげられている。アメリカなどでは、コンピューターに仕事を奪われるテクノ失業者が社会問題になっているといわれている。当市にはたくさん工業団地があり、テクノ失業者が生じることで市がダメージを受けることも考えられる。他市に先駆けてAI対策研究を始めてはいいか。

議員
 総務省が人工知能・ICT分野に関するシンギュラリティ研究会を開いていると聞いた。なくなる職種としては医師、オペレーター、運転業務などがあげられている。アメリカなどでは、コンピューターに仕事を奪われるテクノ失業者が社会問題になっているといわれている。当市にはたくさん工業団地があり、テクノ失業者が生じることで市がダメージを受けることも考えられる。他市に先駆けてAI対策研究を始めてはいいか。

市長

AIの進化も加速度的に進むと思われる。最先端の情報を得ながら時代の変化に応じた常総市の未来づくりを計画していきたい。



※用語説明

- ICT：情報伝達技術
- ITに代わる用語
- AI：人工知能
- IT：情報技術



消防団を地域防災力の中核に

常総市消防団の現状及び充実に
ついて



市長公室長

とが不可欠であり、充足率を100%に近付けるための努力を続けていただきたい。また、今後さらなる団員減が推測されるが、新規消防団員確保に向けた市の取り組みを伺う。

市のホームページや広報に活動状況を掲載するほか、機能的消防団の結成などにより、団員減少の対策を検討していく。

議員

免許制度の改正に伴い、消防自動車の運転ができない団員が出てくる懸念があるが、市の対応を伺う。

防災危機管理課長

県内では八千代町が本年度から補助制度を導入したが、当市での導入については、国・県の今後の財政措置を注視したい。

議員

補助ありきでなく、近隣の情報を得ながら最善策を模索してほしい。また、防災先進都市づくりにおける消防団の役割について伺う。

市長

地域防災力の要は消防団であり、共助という部分でも一番重要なのが消防団である。防災先進都市にふさわしい消防団になるよう環境整備に努めていく。

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問



500人収容施設を水海道に

旧水海道商店街の現状と賑わい再生の取り組みについて



については市の重要課題としてプロジェクトチームで調査・検討を進めている。カスミ跡地と市民の広場が一体的な空間としての利活用が図れないか、また公民館機能だけでなく複合的な利活用が図れないかなどを検討している。

議員

カスミ跡地の利用についての具体的な協議内容を伺う。

副市長

公民館跡地とカスミ跡地の交換を基本に今後とも協議していく。

議員

水海道地区には使い勝手の良い建物がない。生涯学習センターには固定椅子が145席しかなく、椅子を入れても200席にしかならない。200人以上の会議は石下地区まで行かなければならない。500人くらい収容できる、しかも公民館等も一緒に兼ね備えた多目的な施設が必要である。カスミ跡地と市民の広場を一体的に利用すればアクセスしやすく余裕のある駐車場も確保できる。早急に計画を前進していただきたい。

市長

財源の確保も含めた具体案の提示を早急に検討する。

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問

市長公室長

市民の広場やカスミ跡地の利活用、老朽化した水海道公民館

議員

現在の市民の広場は、長谷川市長時代に別の計画を進めていたが、選挙の戦いの材料となり大変残念な結果となった。その後市民の広場に隣接するカスミの店舗が移転し空き店舗となっており、その跡地を市で使ってくれという話があったと聞いている。その対応はプロジェクトチームで行うという話だが、経過報告を伺う。

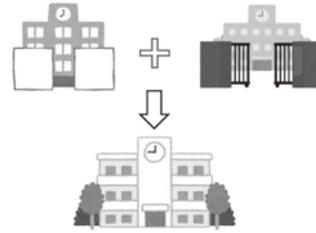
坂野 茂実 議員

中村 安雄 議員



小学校の適正配置を

小学校の統廃合について



坂巻 文夫 議員

議員

28年に質問をしたが、当時の答弁は、小規模が今よりも一層進んで、仮に複式学級が続く場合は、将来的には適正配置を改めて考えるというものであり、市としては統廃合に前向きではないという印象を受けた。また、20年10月に設置した常総市立学校適正配置審議会が22年8月に答弁をしているが、答申が置いときぼりという状態は好ましくない。その後も、生徒数は25年が3494人、26年が3434人と、毎年40〜50人減少してい

る。現在における学校統廃合についての考えを伺う。

教育長

統廃合については、審議会の答申である「地域の考えを考慮して実施する」との提言を十分に考慮し、これからの教育環境や活動の状況と地域からの声をしっかりと受け止めながら、考えていきたい。また、基本台帳により、小学校区ごとに年齢別児童数を5年先まで算出したところ、10人を切る学年が現れ、一つの学校では複式学級が複数になり、それが継続されてしまふという状況が明らかに予想される。この状況を受け止め、児童生徒の将来を考え、教育委員会としてしっかりと対応できるように、地域の声を聞き、さらに学校の状況などを多面的かつ総合的に調査しておくことが急務であると考えている。

議員

これから、少しずつ進めていくという答弁と受け止める。子どもたちの教育は非常に大事な部分だから、早く進めていただきたい。また、現在、小学校は14校だが、本来であれば、内守谷を含めた15校あるべきものだということは覚えておいていただきたい。

□ 設 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 設 問



徹底したガイドブックの普及を

常総市の目指す防災、減災について



遠藤 正信 議員

議員

「わが家の防災ガイドブック」が発刊され、配布から約2カ月が経過したが、その後の市民からの反応を伺う。

市長公室長

市民の方々からは、地域の防災訓練や勉強会において内容の説明をしてもらえないかという声をいただいている。

議員

各戸というか、各世帯者に配布してあるということだが、それでは自治会に加入していない人にはどういう形をとっている

のか伺う。

防災危機管理課長

公共施設及びカスミ等の店舗に設置している。

議員

自治会に加入したくても加入できない人もいます。未加入者の元には黙っていても届かない。今後、未加入者の自発的な行動に頼る部分についてどのように考えているか伺う。

防災危機管理課長

お声があれば窓口でもお渡しするし、ホームページにも掲載しているが、要請があれば郵送も行う。

議員

何とか全世帯にこのガイドブックを配れるような配慮をしていただきたい。これは要望で結構です。また、地域に向いてガイドブックの詳細な内容とともに勉強する会を開催していただきたい。将来的には全自治区に向いていただきたい。そういう形で市民に徹底するという考えはあるか伺う。

市長公室長

出前講座とか、市長が直接行く座談会等多くの機会がガイドブックの中身も説明できればと考えているが、全自治区という形での計画はまだない。



電車等については取り上げられているか伺う。

市長公室長

昨年11月、筑西市のアドバイザーによる提案があった。

議員

それについて、もう一步勉強を進める、実際に視察に行く等他の自治体の反応はあったのか伺う。

市長公室長

先に進むべき問題が山積みし、そこまで至らなかった。

議員

まずは地域経済の活性化だが、都心に集中する人や企業の地方への分散や当県への企業誘致、都心部で大型地震の発生時の防災減災を含め、公共交通の整備として常総線の活性化は大きな意味がある。当市に真剣に取り組んでもらいたい。市長の考えを伺う。

市長

多数の専門家が大きな可能性があると話している。現在市内の工業団地は大変好況だが、人（雇用）が集まらない。関係者からは雇用の受け皿を広げるためにも、まず常総線を活性化し利便性を高めてほしいという声が多い。近隣自治体の首長に同意を求めながら進めていきたい。

沿線の活性化を

市長が公約に挙げていた常総線の電化やTXへの相互乗り入れについて



議員

市長が公約にも挙げていた常総線の電化やつくばエクスプレスへの乗り入れについて、その後の進捗状況を伺う。

市長公室長

28年市長就任後から沿線自治体の首長との意見交換会を4度実施している。昨年11月と今年1月にはアドバイザーによる提案等ももらいながら勉強会も行っている。

議員

勉強会ではすでに実用化されているアキムのような蓄電式



募集しているが、その金額について把握していたのか、また適正といえるのか伺う。

保健福祉部長

掲載料は把握していない。民間企業同士の契約ということで行政の関与が難しいものと理解をしている。

議員

本当に子育て世帯に役立つ冊子なのか。子育てに奮闘している中、困ったときにこの冊子をいち早く見るのか。スマートフォンやパソコンで市のホームページや関連サイトから情報を入力する人が多くいると思うので、まずは市のホームページを充実し、さらにはSNS等を活用してニーズに合った情報発信をすべきである。それらを踏まえて今後このような方式で業務委託を継続していく考えがあるか伺う。

総務部長

現在のところ、市にはこれらの協定の締結や連携事業の実施に関して可否を決定する基準はなく、追いついていないのが現状である。今後は議員のご指摘も踏まえて、市の関与のあり方協定の可否等について、調査研究を行い、適切な情報提供に努めていきたい。

市内業者の負担なき広告を

有料広告掲載について



議員

常総市子育て応援ブック発刊について、冊子発行業者の選定方法を伺う。

保健福祉部長

市の指名参加願登録事業者には、同様の事業を行う市内の事業者がなかったことや協定事業者と既に共同発行を行っている自治体に聞き取りを行った結果、特に問題となる点がなかったことから協定を締結した。

議員

広告の掲載料について、13万円から20万円の間で掲載すると



もったいないを常総ブランドに

常総市のブランド確立について



議員

最近、新たな取り組みをして、それを地域の名産・名物とする動きがある。そこで、食品ロスの軽減についての質問をした。今回、時間と労力、思いが込められた生産物が市場に出ることなく土に返されている現状に着目し、当市の食品ロス軽減に対する取り組みを尋ねる。

経済環境部長

市として、取り組みは行っていない。常総ひかり農業協同組合では、契約農家との間でB級品や規格外品の販路がある。

議員

例えば、形がいびつで正規品では売れない物を加工して販売経路を見出すことも一つの策として考えられる。当市の食品加工等で正規品とは違う形で品物を扱う企業の把握状況を探ねる。

商工観光課長

26年経産省の調査で製造業は247社。製造品出荷額は県内8位、人口一人当たり食料品製造業の出荷額は全国6位と比較的上位を占めている。

議員

とても恵まれた環境にあるのだから、生産者と企業との橋がけのような取り組みが欲しいが、考えはあるか尋ねる。

経済環境部長

今は無策だが、優良企業が多く存在するため、今後は食品ロスを軽減する方向で検討したい。

議員

今後の展望として何らかの施策があるか尋ねる。

経済環境部長

直近では、朝市による軽トラ市という販売手法を今年度はやっつけていく。アグリサイエンスパークとタイアップして食品ロスゼロ及び農家や企業が利益を生み出せる街づくりが常総ブランドになると考えている。

関 優嗣 議員

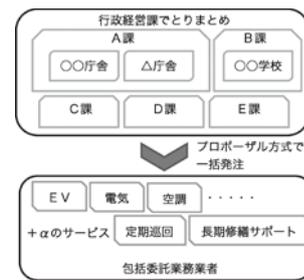
問 答 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 問 答

包括施設管理業務委託は

○か×か



包括施設管理業務委託について



議員

包括施設管理業務委託の導入を目指しているということだが、金額ベースで5年契約の1億数千円、5年だと数億円の予算規模になるので、まだまだ多くの議論の余地があるのではないかと5月に予算を編成して、9月には業者を選定し契約に持つていき、来年実施の意向という話は聞いているが、スケジュールは遅れているのか。またメリットとデメリットを含めて伺う。

総務部長

市では、施設の維持管理業務

を一括して発注する包括施設管理業務委託の導入を検討しているが、現在、再度業務内容の見直しを行っている。主な見直し内容は、本業務の対象が施設管理であることに鑑み、公園等の植栽業務を項目から除外したほか、小規模修繕工事についてもこれまで通り地元業者に対応していた方向で除外した。そのためスケジュールについても前回議会でも答弁した来春からの実施段階には至っていない。

議員

予算規模もそれなりなものだから、やはり幅広く意見を吸い上げてじっくり時間をかけて検討する必要があるのではないかと思っているが、今後のスケジュールについて伺う。

総務部長

現在、対象事業や業務内容等の見直しを行っている。詳細に見直し作業を実施し、内容が整い次第、議員の皆様には相談させていたいただきたい。

議員

まだ、整理しきれていない部分もある。十分な検討を加えて必要に応じて、議員にも早め早めに情報提供等、相談をして進めていただきたい。

新田 宏安 議員



倉持 守 議員

菅生沼にも防災対策を

菅生沼の位置付けと水害の関連性について



は、民家に入れないために近所の方が船を出している写真。防災先進都市を目指す常総市としてこの状況を見てどう思うか。菅生沼の位置づけと環境整備、そして防災の面から、水害との関連性について尋ねる。

経済環境部長

市としては、菅生沼を考える会や地元自治会の活動に協力し、周辺自治体、県と協力連携して環境保全に努めていく。

都市建設部長

過去に地元住民、市職員、地元議員、県の境工事務所の関係者で、菅生沼・飯沼川の整備に関する検討会を合計4回実施し、県の境工事務所では、「検討された課題をもとに長期的な整備方針を定め、実施していく」計画を進めている。

市長公室長

大雨や台風により浸水してしまふ箇所がいくつか見受けられる。早期の治水対策、河道掘削やしゅんせつ工事は極めて重要であると考え、菅生沼陸地化解消については、国や県、境工事務所に対策を講じるよう強く要望していきたい。

議員

国への要望活動を進めて、水害のない常総市にしたいと思う。

□ 殿 園 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問



茂田 信二 議員

税金の無駄使いをするな

市長の市政を問う
(市長の政治姿勢を問う)



と国保料を引き下げろべきだ。また、道の駅とインターチェンジ周辺に関する3冊の冊子を作るのに3100万円もかけているが、なぜそんなにかかるのか私でも作れるような内容だ。仲介にお金が流れているのか。

産業拠点整備課長

3100万の委託費の内訳は、道の駅の基本構想、基本計画については官民連携による取り組みで戸田建設と随意契約を、先導的の事業については今議会後に国交省のホームページに調査の成果が掲載されるが、こちらも戸田建設に委託している。

議員

戸田建設に税金払って頼まなくてはならない理由があるのか。

市長

官民連携で研究をしていくことが大事。民間の知恵を入れていくということが一番大切。

議員

道の駅が赤字の場合誰が責任をとるのか。

市長

道の駅を作る、作らないは、議会制民主主義の中で、市民の合意、議員の皆さんの理解がなければできないと考えている。

議員

それでは答弁になっていない。

意見書を提出しました

保健所再編に伴う常総保健所の廃止に対する意見書

茨城県では、保健所の再編計画として、今ある12箇所の保健所を9箇所に集約しようとしている。常陸大宮保健所及び鉾田保健所は廃止といっても、窓口機能を残す方針であるのに対し常総保健所は廃止である。

保健所の役目は大規模な食中毒、感染症の発生防止、災害時の住民の健康管理などの地域の生活衛生に関する行政を担う大事な機関であると位置付けられている。

常総市は平成27年関東・東北豪雨大水害の最大の被災地であることは記憶に新しいが、過去には鳥インフルエンザが発生した地域でもある。まだまだ回復復興の途次にあり、井戸水の感染など住民の健康に油断できない状況となっている。先の水害ではっきりしたように、地域の構造から見ても大雨が降れば洪水の大被害になることは今後も考えられ、どんな強固な堤防をつくっても壊れない堤防はないとする国の見解からすれば、住民の健康に責任を持つ保健所を廃止するなど、とても認められない。

今回の保健所再編計画は、行政の使命を忘れた策であると思われるため、直ちに計画を撤回し、常総保健所の存続を強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年6月14日

常総市議会

(提出先) 茨城県知事

常任委員会所管事務調査

文教厚生委員会

5月11日、玉学校給食センターにおいて児童生徒の給食の現状を把握するため、委員会による試食が行われました。今回の調査は、昨年11月14日に行った豊岡学校給食センターでの試食に続き、所管事務調査の一環として行われたものです。



建設経済委員会

6月11日、左記陳情の内容を確認するため、建設経済委員会で新石下排水樋管の現地調査を行いました。

当日は、担当課長及び自治区長の説明を受け、陳情にある可搬式のポンプの導入又は排水ポンプ場の建設等の必要性について十分に検討いたしました。

建設経済委員会では、当該現地調査の結果、陳情第4号について全会一致をもって採択すべきとの決定をし、その後、本会議での委員長報告を経て、全会一致で採択されました。

江連都市下水路の集中豪雨時氾濫に関する陳情書

【要旨】

江連都市下水路の排水は、新石下排水樋管を通じて鬼怒川へ流れる仕組みになっています。

しかし、台風などの集中豪雨による増水で鬼怒川の水位が1.8mを超えた場合、新石下排水樋管の水門が閉じられ、鬼怒川への排水が止まります。その後も豪雨が続きと江連都市下水路の水位が上昇し、氾濫・床下浸水などの危険があります。

このような状況に対する改善を昨年常総市に提案し、市長から以下の主旨で回答をいただいています。

回答内容主旨

「今後、新石下排水樋管につきまして、可搬式のポンプの導入や排水ポンプ場の建設等を視野に入れ検討していきたい。」

回答いただいている可搬式のポンプの導入や排水ポンプ場の建設等を推し進めていただきますようお願いいたします。

上記のことについて、陳情書を提出する。

常総市議会議長 風野 芳之 殿

平成30年4月13日



平成30年4月 随時会議 審議結果

平成30年常総市議会（4月随時会議）が、4月25日に開かれまし

た。
今随時会議には、市長が議案を2件提出。本会議で上程・提案理由の説明があり、採決の結果、議案2件が原案のとおり可決されました。

審議された主な議案は次のとおりです。

議案第100号

道路の整備に関する平成30年度委託契約の締結について

本案は、仮称鹿小路細野線道路整備事業について、今年度分の事業費6億円の工事を茨城県知事へ委託するもので、4月2日に仮契約を締結したことから、議会の議決を必要とするものです。

平成30年5月定例会議

審議結果

平成30年常総市議会（5月定例会議）が、5月30日から6月14日までの16日間の日程で開かれま

した。
今定例会議には、平成30年度一般会計補正予算を含む議案17件を市長が提出。初日の本会議で提案

理由の説明があり、後日、議案質疑を行い、各常任委員会、予算特別委員会に付託され、各委員会（分科会）において詳細に審議がなされました。

最終日には、市長から人事案件2件、議員から意見書1件提出され、採決の結果、予算を含む議案18件、人事案件2件が原案のとおり可決・同意了承されました。また、陳情1件は採択となりました。

審議された主な議案は次のとおりです。

議案第12号

常総市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

この条例は、全庁的な公共施設の使用料改正にともない、社会体育施設の使用料についての見直しを行うものです。主な改正点は、全庁的な統一基準により減額、免除制度について明記し、使用時間帯についても、市民の利用機会拡大のため、きぬ温水プールを除き、現行の4分割の時間帯から1時間単位に改めるものです。また、市民等以外の基本使用料も設定するものです。なお、改正後の使用料が現行の使用料の1・5倍を上回る施設については、利用者負担の軽減策として、1年間の経過措置を講じることとするものです。

議案質疑

議員

当条例案の第8条第3項には「公益上必要がある」と市長が認めるとき」という文言があるが、公益上の必要性を明確にする規則等はあるのか。また、同条項による減額または免除は基本使用料のみならず特別使用料についても適用されるのか。

教育部長

規則等に明記するよりは、さまざまな利用について、その都度公益性を判断する必要があると考えている。また、減免については「使用料」となっているため、基本使用料のみならず特別使用料についても適用されま

議案第13号 常総市学校施設の開放に関する条例について

この条例は、全庁的な公共施設の使用料改正にともない、従来無料開放してきた市立小中学校施設の利用についても有料となることから、新たに制定するものです。主な内容は、市内の学校施設を定期的かつ継続的に利用する団体は、教育委員会に登録し、教育委員会の許可を得て利用することとします。使用料については、校庭は無料とし、体育館は1時間につき300円、武道館は1時間につき200円と定め、使用申請する際に納付することとします。ただし、新たに使用料を徴収することによる利用者負担の軽減策として、施行から1年間については、使用料の額を2分の1とする経過措置を講じることとします。また、使用料の減額、免除制度についても、全庁的な統一基準に基づき条例に明記するものです。

条例案第8条第3項

前2項の規定にかかわらず、公益上必要があると市長が認めるときは、使用料を免除し、または減額することができる。

用語解説

使用料：基本使用料及び特別使用料

基本使用料：条例案別表第2に定められる社会体育施設そのものの使用料

特別使用料：条例案別表第3に定められる社会施設の設備（照明設備、冷暖房設備等）の使用料

インターネット 映像配信中!!



【アクセス方法】
市ホームページ
↓
常総市議会
↓
議会映像配信

<http://www.josocity.stream.jfit.co.jp/>

スマートフォンや
タブレット端末でも
視聴できます。



平成30年 4月随時会議(4月25日開催) 審議案件と結果

議案番号	議案名	審議結果
議案第100号	道路の整備に関する平成30年度委託契約の締結について	可決
議案第101号	財産の取得について	可決

《会議の欠席等の状況》

大澤 清

平成30年 5月定例会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、色付き部分は賛否が分かれた案件です。

議案番号	議案名	審議結果
議案第1号	常総市行政不服審査法施行条例の一部を改正する条例について	可決
議案第2号	常総市長等の給与及び旅費の特例に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第3号	財産の処分について	可決
議案第4号	常総市税条例等の一部を改正する条例について	可決
議案第5号	常総市石下総合福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第6号	常総市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案第7号	常総市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第8号	常総市すすく医療費支給に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第9号	工事請負契約の締結について	可決
議案第10号	常総市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第11号	常総市風土博物館条例の一部を改正する条例について	可決
議案第12号	常総市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第13号	常総市学校施設の開放に関する条例について	可決
議案第14号	水海道シティハイツ集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第15号	市道の路線の廃止について	可決
議案第16号	建設工事委託に関する協定の締結について	可決
議案第17号	平成30年度常総市一般会計補正予算(第1号)	可決
議案第18号	保健所再編に伴う常総保健所の廃止に対する意見書提出について	可決
陳情第4号	江連都市下水路の集中豪雨時氾濫に関する陳情書	採択
推薦第1号	人権擁護委員の推薦について(柴崎勝也氏)	同意
推薦第2号	人権擁護委員の推薦について(瀬戸隆海氏)	同意

《会議の欠席等の状況》

5/30 本会議 喜見山明(欠席) 6/7 本会議 大澤 清(早退)、水野 昇(早退)

6/8 本会議 喜見山明(遅参)、水野 昇(早退)

平成30年 5月定例会議 議員の賛否

議案などに対して賛否の分かれたものを掲載しています。

※議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しています。

※当市議会は3名以上で構成される団体を会派として認めています。

○：賛成 ×：反対 棄：棄権

議案番号	正政会								未来					無会派						
	関優嗣	大澤清	寺田洋	堀越輝子	坂巻文夫	遠藤正信	中島亨一	坂野茂実	小林剛	新田宏安	倉持守	中村博美	岡野一男	中村安雄	茂田信三	喜見山明	石川栄子	水野昇	堀越道男	風野芳之
議案第5号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	※議長は採決に 加わらない
議案第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	
議案第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	
議案第12号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	

永年勤続議員表彰

全国市議会議長会及び茨城県市議会議長会では、市議会議員として永年勤続され、地方自治の進展に寄与された議員に対し、毎年表彰を行っています。

今年も各議長会の総会において表彰が行われ、5月定例会議最終日の本会議終了後、表彰ならびに記念品の伝達が行われました。

全国・県の市議会議長会からの表彰



全国・県市議会議長会
議員在職35年特別表彰
中村 安雄 議員



全国・県市議会議長会
議員在職15年特別表彰
岡野 一 男 議員



全国・県市議会議長会
議員在職15年特別表彰
中村 博 美 議員

議長のひとこと



去る5月30日招集した議会、6月14日をもって閉会となりました。この間極めて熱心かつ慎重にご審議いただき全議案可決いたしました。執行部におかれましては、議会の意思決定につきまして周到なる計画のもと、各般にわたり事業の効率を十二分にあげられますよう強く要望します。

また、近未来常総市を見据え昭和時代の都市計画道路の精査、国道294号沿いの農振地区除外はできないものか…？行政しかできない業務は多い。民間活力が入りやすい環境づくりを急がなければと望む。議会といたしましても、住民代表として責務達成にまい進するのは当然のことである。

常総市議会議長 風野芳之

8月定例会議日程(予定)

8月29日(水)	第7回会議(本会議)
9月4日(火)	第8回会議(一般質問)
9月5日(水)	第9回会議(一般質問)
9月6日(木)	第10回会議(一般質問)
9月7日(金)	第11回会議(一般質問)
9月10日(月)	予算・決算特別委員会
9月11日(火)	決算特別委員会
9月12日(水)	決算特別委員会
9月13日(木)	常任委員会(分科会)
9月14日(金)	常任委員会(分科会)
9月18日(火)	常任委員会(分科会)
9月20日(木)	第12回会議(本会議)

※正式な日程は8月下旬に開催される議会運営委員会で決定されます。

編集後記

お盆が過ぎて、夏本番の暑さが続いております。昔のことではありませんが、お盆で思い出すのが恒例であった地域の盆踊りです。老若男女、太鼓や音頭に合わせて櫓の周りを踊ったあの光景は、現在ではほとんど見かけなくなり寂しい限りです。

時代の経過とともにコミュニケーション不足や人間関係の希薄化が懸念されてきた今こそ、人との関わりを大事にすべきと考えます。

本紙を通じて、市民の皆様との関わりを少しでも広げられるよう、そして市議会や議員の活動をお伝えできたなら幸甚です。

坂野 茂実

議会だより編集委員会

- 委員長 倉持 守
- 副委員長 堀越 輝子
- 委員 関 優嗣
- 委員 大澤 清
- 委員 坂野 茂実